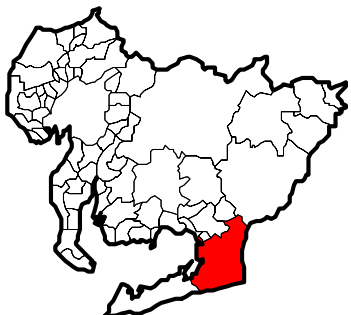


# 「国際共生都市・豊橋」英語教育推進特区

|        |        |   |
|--------|--------|---|
| 都道府県名： | 愛知県    |  |
| 申請主体名： | 豊橋市    |   |
| 区域の範囲： | 豊橋市の全域 |   |

**特区の概要：** 豊橋市では、現在小学校3年生から6年生まで全市一斉に年間3時間の英会話を実施しているが、英語運用能力の習得には至っていない。また、市内の外国人居住者は、一万八千人（人口の約5%）を超えており、「国際共生都市・豊橋」として、英語教育の充実を基盤とした国際理解と共生意識の涵養が課題となっている。そこで、市内の公立小学校全校で、小学校3年生から教科「英会話」を教育課程に位置づけるとともに、公立中学校全校で、英語の授業を週4時間（現行より1時間増）にし、小中一貫した豊橋市独自のカリキュラムによる「英会話のできる豊橋っ子」の育成を目指す。

**適用される規制の特例措置：** ・特区研究開発学校の設置（教育課程の弾力化）



SA(地域の英語に堪能な人材)による小学校での授業風景



ALT(外国人英語指導助手)による中学校での授業風景